

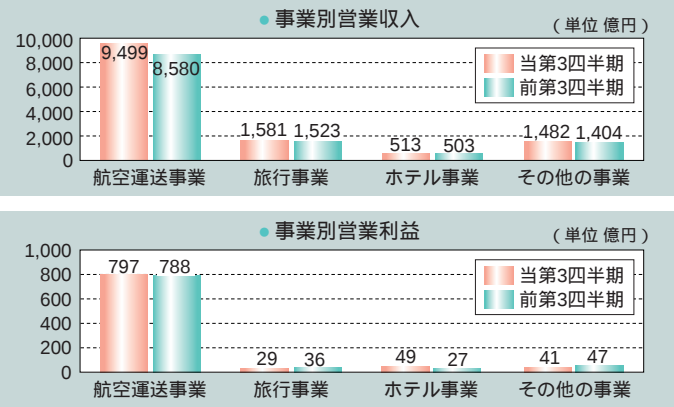
ANAグループ(連結)

■ 第3 四半期概況

- 国内線旅客はビジネスを中心に個人需要が堅調に推移、新運賃「旅割」や沖縄キャンペーンなどによる需要喚起も奏功し対前年同期比6％の増収になりました。
- 国際線旅客はビジネス・観光需要とともに好調に推移、シカゴ線の開設や中国・アジア路線の増便もあり対前年同期比21％の増収になりました。
- 貨物事業は貨物専用機の増機等により対前年同期に比べ国内線、国際線とも増収になりました。
- 燃油価格が高水準で推移し燃油費が対前年同期比390億円増加したほか、売上増に連動して販売費用等も増加したものの、営業利益は対前年同期比2％の増益となり過去最高になりました。
- リース機材の返却に伴う諸費用等を営業外費用として計上したことにより経常利益は前年同期を下回りましたが、当第3四半期純利益は対前年同期比42％の増益となり過去最高を記録しました。

■ 経営成績 (単位 億円)				
	当第3四半期 累計	前第3四半期 累計	増減	前年同期比 (%)
営業収入	11,345	10,381	963	109.3
営業費用	10,428	9,482	945	110.0
営業利益	917	899	17	102.0
営業外損益	189	145	43	-
経常利益	727	753	25	96.6
特別利益	2	134	136	-
四半期純利益	426	299	127	142.5

■ セグメント情報



(注) 上記事業別営業収入および営業利益には事業区分(セグメント)間の取引額が含まれています。

連結損益計算書

(単位 億円)

	当第3四半期 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	前第3四半期 (2005年4月1日から 2005年12月31日まで)
営業収入	11,345	10,381
営業費用	10,428	9,482
営業利益	917	899
営業外収益	88	110
営業外費用	278	256
経常利益	727	753
特別利益	40	87
特別損失	37	221
税金等調整前四半期純利益	730	619
税金費用	294	333
少数株主損益	10	13
四半期純利益	426	299

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 億円)

	当第3四半期 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	前第3四半期 (2005年4月1日から 2005年12月31日まで)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,359	1,269
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	976	567
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	670	396
4. 現金及び現金同等物の換算差額	0	2
5. 現金及び現金同等物増減額	286	308
6. 現金及び現金同等物の期末残高	2,141	1,942

連結貸借対照表

(単位 億円)

	当第3四半期 (2006年12月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)		当第3四半期 (2006年12月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	4,660	5,303	流動負債	4,373	4,808
固定資産	11,755	11,354	固定負債	7,940	8,325
繰延資産	6	10	負債合計	12,313	13,134
			少数株主持分	-	71
			資本の部		
			資本金	-	1,600
			資本剰余金	-	1,256
			利益剰余金	-	526
			その他	-	80
			資本合計	-	3,463
			純資産の部		
			株主資本	3,744	-
			資本金	1,600	-
			資本剰余金	1,257	-
			利益剰余金	894	-
			自己株式	7	-
			評価・換算差額等	281	-
			少数株主持分	83	-
			純資産合計	4,109	-
資産合計	16,423	16,668	負債純資産合計	16,423	16,668

本文中の記載金額、数量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

航空運送事業の売上高

(単位 億円)

区 分		事業年度	当第3四半期	前第3四半期	増 減
			(2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	(2005年4月1日から 2005年12月31日まで)	
航空運送事業	国内線	旅 客 収 入	5,565	5,246	319
		貨 物 収 入	234	225	8
		郵 便 収 入	70	65	5
		手 荷 物 収 入	2	2	0
		小 計	5,872	5,539	332
	国際線	旅 客 収 入	2,097	1,730	367
		貨 物 収 入	463	409	53
		郵 便 収 入	25	23	2
		手 荷 物 収 入	3	3	0
		小 計	2,589	2,166	423
	航空事業収入合計		8,462	7,706	755
	そ の 他 の 収 入		1,037	873	163
合 計		9,499	8,580	919	

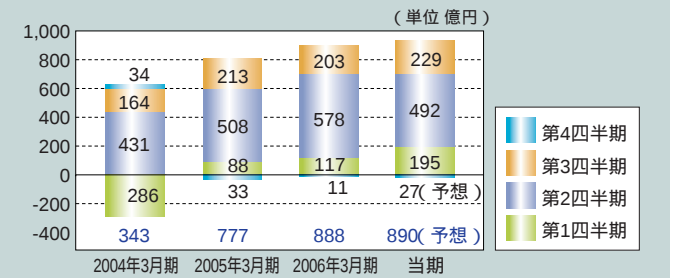
(注) 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

輸送実績

事業年度		当第3四半期 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	前第3四半期 (2005年4月1日から 2005年12月31日まで)	前年同期比 (%)
区 分				
国内線	旅 客 数(万 人)	3,541	3,471	102.0
	座 席 キ ロ(億席キロ) ^{*1}	471	461	102.1
	旅 客 キ ロ(億人キロ) ^{*2}	309	302	102.2
	利 用 率(%) ^{*3}	65.6	65.6	0.0
	貨物輸送重量(千 ト ン)	349	335	104.4
	貨物輸送量(百万トンキロ)	337	324	104.1
	郵便輸送重量(千 ト ン)	71	67	105.9
	郵便輸送量(百万トンキロ)	76	71	106.5
国際線	旅 客 数(万 人)	338	305	110.9
	座 席 キ ロ(億席キロ) ^{*1}	196	189	103.7
	旅 客 キ ロ(億人キロ) ^{*2}	150	140	107.7
	利 用 率(%) ^{*3}	76.7	73.8	2.9
	貨物輸送重量(千 ト ン)	205	185	111.0
	貨物輸送量(百万トンキロ)	930	846	110.0
	郵便輸送重量(千 ト ン)	11	10	108.3
	郵便輸送量(百万トンキロ)	50	46	109.7

(注) ^{*1}1. 座席キロ:(座席数)×(運航キロメートル)
^{*2}2. 旅客キロ:(旅客数)×(運航キロメートル)
^{*3}3. 利用率:(旅客キロ)÷(座席キロ)
4. 国内線にはBEXエアラインズ㈱、北海道国際航空㈱およびスカイネットアジア航空㈱とのコードシェア便実績を含みます。
5. 国際線にはユナイテッド航空(成田～ニューヨーク線、関西～ホノルル線)およびエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。
6. 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。
7. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

■ 四半期ごとの営業利益の推移



● 2007年3月期の業績予想について

(2006年4月1日～2007年3月31日)

去る1月31日、航空旅客収入が予想以上の伸びを示していること等を勘案し業績予想の修正を発表いたしました。

- 景気回復基調が続くなか国内線、国際線ともに旅客収入は予想を上回る見込みです。
- 燃油価格は足元では一服感が出ているものの引き続き高水準で推移しており、燃油費は前期に比べ通期で600億円程度増加する見込みですが、収入の大幅増により収支への影響は一定程度吸収し、営業利益は前期に続き過去最高水準を確保できる見通しです。
- 「中期経営計画」に則った航空機の更新をさらに加速させ競争力と収益力の強化を図っていくため、機材更新に伴う特別損失を100億円程度見込みました。

以上の状況から2007年3月期の通期業績予想を以下のとおり修正いたしました。

● 連結業績予想 (単位 億円)

	修正予想 (1/31時点)	業績予想 (10/31時点)	増減	前年実績
売上高	14,800	14,500	300	13,687
営業利益	890	760	130	888
経常利益	590	475	115	667
当期純利益	280	270	10	267

● 個別業績予想 (単位 億円)

	修正予想 (1/31時点)	業績予想 (10/31時点)	増減	前年実績
売上高	12,900	12,600	300	11,710
営業利益	740	620	120	695
経常利益	440	375	65	508
当期純利益	190	225	35	281